

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	人間発達学部		
科目名称 [英語名称]	人間と自然の共生 [Symbiosis between Nature and Humans]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	
科目コード	750007	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1-4年次
教員氏名	山口 健一			学位授与の方針 との関連	DP1(1)		
授業概要	地球環境問題を解決し、持続可能な循環型社会を形成するためには、自然からの「搾取」によって成し遂げた過去の経済発展から、自然との「共生」による持続可能な発展へと転換することが必要である。本授業では、農業を事例として「共生」をキーワードに生態に関する基礎知識を学び、人間も生態系の一員であることを再認識することを目的とする。【知識・理解の育成】						
関連する科目							
授業の進め方と方法	毎回の講義内容を板書します。また、関連箇所については、資料を配付して説明します。						
授業計画	<p>授業は概ね以下の内容で進行する。</p> <p>01. 授業の概要と進め方 人間と環境の関りについて学ぶ。</p> <p>02. 環境と生態系について 環境を構成する要素と自然生態系を学ぶ。</p> <p>03. 人間と自然のかかわり 自然環境の中での生物、人間の位置づけを学ぶ。</p> <p>04. 生物圏の基礎 生物が活動する土壌、水、大気について学ぶ。</p> <p>05. 生物と人間とのかかわり 生物の種類・分類と人間の位置づけを学ぶ。</p> <p>06. 地圏の基礎、人間とのかかわり 地球の地下構造と土壌について学ぶ。</p> <p>07. 人間と自然の共生事例1. 農業の多面的機能 人間と自然が共生する農業について学ぶ。</p> <p>08. 人間と自然の共生事例2. 農業の環境上の問題点〔1〕 作物生産の環境上の問題について学ぶ。</p> <p>09. 人間と自然の共生事例3. 農業の環境上の問題点〔2〕 家畜生産の環境上の問題について学ぶ。</p> <p>10. 人間と自然の共生事例4. 自然生態系農業 人間と自然が共生する環境保全型農業について学ぶ。</p> <p>11. 人間と自然の共生事例5. 農業体験学習〔1〕 本学で実施されている環境保全型農業について学ぶ。</p> <p>12. 人間と自然の共生事例6. 農業体験学習〔2〕 宮崎県綾町で行われている自然生態系農業を学ぶ。</p> <p>13. 気圏の基礎、人間とのかかわり 人間を取り巻く大気圏について学ぶ。</p> <p>14. 水圏の基礎、人間とのかかわり 人間を取り巻く地球の水を学ぶ。</p> <p>15. 循環型社会に向けて 持続可能な社会発展と人間の関りを学ぶ。</p>						
授業の到達目標	人間を取り巻く環境(大気、土壌、水および他の生物)の重要性について認識するとともに、「人間と自然の共生」例として農業の仕組みや問題点を理解する。【専門分野の知識・理解の育成】						
授業時間外の学修	【予習】予め次回の授業項目をアナウンスするので、図書室等を利用して各自で予習を行う。(30分程度) 【復習】授業ノート及び配付資料を参考に、受講生各自で毎回復習する。(1時間程度) なお、不明な箇所については、必ず授業の前夜又はオフィスアワー等を利用して担当教員に質問し、学びを深める。						
課題に対する フィードバック	授業前後の時間、及びオフィスアワーを利用して質問を受け付け、授業内容の理解を深める。	評価方法			定期試験(80点)を実施し、課題提出及び受講態度等(20点)を含めて総合的に評価する。		
テキスト	講義内容に関する資料や参考となる図書を都度配布・紹介する。						
参考書	授業の進展にそって、関連する参考書や資料等を適宜紹介する。						
備考	人間と自然の共生事例「農業体験学習」については、環境園芸学部附属フィールドセンターなど教室外のフィールドで実施する(事前にスケジュールを連絡)。						